

JAPAN

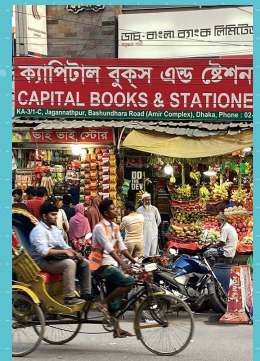
B-JET



地方創生

ここから広げる みんなに伝わる

BANGLADESH



# B-JET (Bangladesh-Japan ICT Engineers' Training Program) について紹介します

## B-JETとは？

B-JET(ビージェット)とは、独立行政法人国際協力機構(JICA)とバングラデシュの政府機関(Bangladesh Computer Council:BCC)が2017年から2020年に実施したJICAの技術協力プロジェクトです。バングラデシュのIT人材が、首都ダッカにて日本語・IT・ビジネスマナーを学び、日本企業への就職を支援する研修プログラムです。



B-JETが生まれるまで  
プロジェクト・ヒストリー「漫画版」

### これまでの成果

2020年10月に終了するまでの約3年間で、プログラム修了生265名のうち日本企業への就職は186名、就職率は70%に上りました。東京をはじめ、北海道、京都、福岡など国内各地に就職し、中でも宮崎への就職者数は54名。東京に次いで2番目に多い人数です。バングラデシュ国内での就職(主に日系IT企業)も含めると、ほぼ100%の就職率という素晴らしい成果を達成しました。



## 2021年2月、B-JETは次のステージへ

JICA事業としてのB-JETは2020年に終了しました。終了後の2021年2月に宮崎大学とバングラデシュのノースサウス大学(NSU)が連携し、事業ノウハウとB-JETの名称をJICAから継承しました。

### ミッション

バングラデシュと日本の社会課題や可能性に挑戦する人や組織を創る

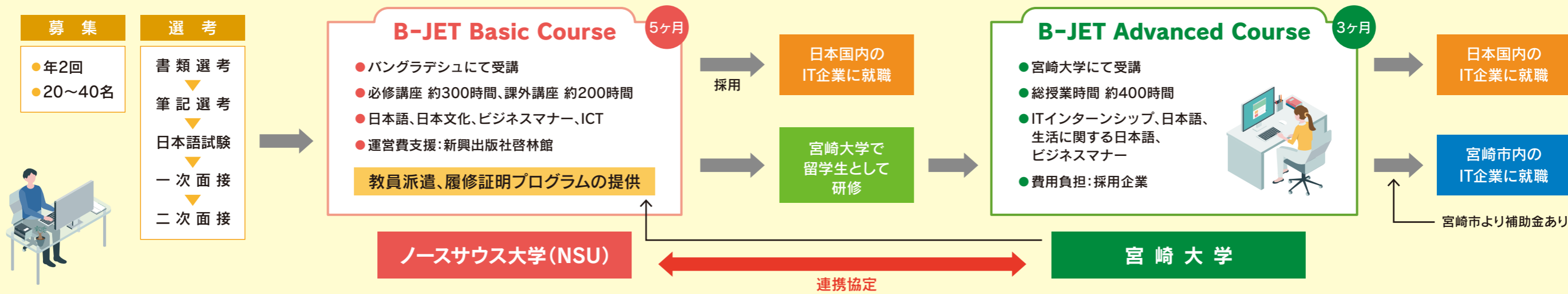
### ビジョン

バングラデシュと日本の社会課題や可能性に挑戦する人や組織、その繋がりが継続的に生まれ、両国が相互に発展する世界

### 育てたい人材像「Be a Giver」

**Vision** ..... 中長期のビジョンを持って  
**Action** ..... 主体的なアクション/挑戦ができ、  
**Collaboration** ... 多様なステークホルダーと協働できる人材

## 宮崎 - バングラデシュ・スタイル



### 実施・関係機関と主な担当内容

関係機関	実施内容
宮崎大学	プログラム全体の運営管理
ノースサウス大学(NSU)	プログラム全体の運営協力
BJITグループ	募集選考の業務支援/キャリア教育支援/就職支援
B&M	募集選考の業務支援/キャリア教育支援/就職支援
新興出版社啓林館	プログラムの設立支援/eラーニング教材の提供



気軽にACCESS

B-JET B-MEET B-JET CAFE

宮崎大学B-JET公式チャンネル

検索

YouTubeで、これまでの活動や研修生たちの声、地域学生との交流の様子などB-JET、B-MEET、B-JET CAFEに関する最新情報を発信しています。



# B-JET修了生と採用した企業、それぞれの声を聞いてみました。



## MIYAZAKI

### スパークジャパン株式会社

〒880-0844 宮崎県宮崎市柳丸町85番地  
【お問い合わせ】 <https://www.sparkjapan.co.jp/contact/>

<https://www.sparkjapan.co.jp/>



#### 修了生の声 **ホサイン・モハammad・ラモザン** Hossain Muhammad Ramzan

- 日本語の勉強は続けていますか？  
はい、社内でのコミュニケーションには日本語が必要のため、続けています。
- 日本語の4技能(話す、聞く、書く、読む)のうち、どの技能が重要だと感じますか？  
日本語のコミュニケーションは、「聞く」「話す」が最も重要なスキルだと思います。
- 日本語以外に何かスキルアップのための勉強をしていますか？  
はい、プログラミングの勉強を続けています。プログラミングのスキルアップは、私の仕事に役立っています。



- B-JETでいろいろなことを学びました。その中で、役に立っていること(技術や知識)は何ですか？  
トレーニング中に学んだ「時間厳守」や「報・連・相」といった日本のビジネスマナーが大切だということがとても役立っています。特に「報・連・相」を学んだときは、とても新鮮でした。
- 今後、必要なスキル、身につけたいスキルは何ですか？  
漢字をもっと身につけたいです。
- 最終的な目標・夢は何ですか？  
今後10年、20年と日本で働き、将来は自分の経験を生かし、バングラデシュと日本の架け橋になりたいと考えています。

## NAGANO

### シソーラス株式会社

〒380-0833 長野県長野市鶴賀権堂町2312-1  
【お問い合わせ】 <https://www.thesaurus.co.jp/contact/>

<https://www.thesaurus.co.jp/>



#### 修了生の声 **アハメド・ファイサル** Ahmed Faysal

- 日本で働こうと思ったきっかけは何ですか？  
もともと海外のどこかで働きたい気持ちがありました。大学の先輩から日本について色々聞いてすごく興味を持ちました。
- どのような業務をされていますか？  
基本はプログラミングをやっています。それと、バングラデシュで働いているオフショア開発者にタスクをアサインしたり、確認・レビューしたりなどもしています。
- 仕事でやりがいを感じる時はどのような時ですか？  
開発したプログラムがうまくいって、ちゃんと使われているのを見ると「いいな…」って思います。

- 上司や同僚とはどのようにコミュニケーションをとっていますか？  
仕事の話をしたり、仕事が終わったらどこかに食事をしに行ったり色んなこと思いつき話せる関係です。最初は難しかったけど、日本語になれてきてコミュニケーションもとりやすくなりました。
- B-JETで学んだことで、今後立っていることは何ですか？  
一番重要なのは日本語。B-JETの教え方は素晴らしくて、早く日本語を学ぶことができました。それと名刺交換の仕方、箸の使い方なども役に立っています。

## 企業の声

### 藤田 祐基 **スパークジャパン株式会社 取締役**

- B-JET生の導入のきっかけは何ですか？  
若い世代が都市部へ流出してしまう課題が地方にはありました。その中で人材確保の可能性として4年前にバングラデシュに行き、産学官連携のB-JETを視察しました。現地の活気、ITスキルの高さ、彼らの目の輝きを見て、当時3人の採用を決めました。
- B-JET生を導入してみて？  
導入して非常によかったと思っています。宮崎大学さんがしっかりとした研修をしてくれているので、とても助かっています。
- 実際に雇用してみて問題ありましたか？  
文化、宗教の違いは当然ありますが、彼らは日本をすごく愛してくれており、また人柄も良いことから、彼らとしっかりと話をすれば、ほとんどの問題は解決できます。

- 採用したラモザンの働きぶりはどうでしたか？  
日本の若者なら5年かかる技術の習得が、彼は3年で習得してしまいスキルの高さを感じています。非常に優秀な人材であり、情報収集にも長けています。日本人だとITに関することを調べるときは、日本語の情報源から調べますが、彼は英語ができるので、IT分野の先端を走っているアメリカなどから情報を取ってくるので、成長も早いと感じています。
- 今後の展開は？  
日本の仕事を現地のバングラデシュに依頼できるように体制を整えていきたいです。バングラデシュにも多くの進んだ技術があるので、それを日本にも取り入れるような展開を考えています。



## 企業の声

### 荒井 雄彦 **シソーラス株式会社 代表取締役**

- バングラデシュからICT高度外国人材を雇用しようと思ったきっかけは何ですか？  
エンジニア雇用を検討している際にバングラデシュの紹介を受け、すぐに現地視察に行ったのがきっかけです。現地トップクラスの大学でCSEを学んだベースがあり、日本語を学ぶ献身的な姿勢を見て、日本でも活躍できるポテンシャルを感じました。
- 高度外国人材受入のために、何か工夫、整備されたことはありますか？  
受入メンバー向けの日本語教育とともに、日本人メンバーの英語教育も始めました。地元コミュニティにも溶け込んでもらいたく、地元の大学や小中学校等のイベント等、交流できる場には積極的に連れて行くようにしています。

- 会社にとってどのようなメリットがありましたか？  
雇用をきっかけにバングラデシュという国のことを良く知り、今後将来に向けて国が急成長していくプロセスに携わることができていることです。
- 高度外国人材を雇用している魅力・強みは？  
ITプラットフォームを活用したサービス事業の企画、デザイン、システム開発、運用、カスタマーサクセスを一気通貫で提供できる体制です。日本のローカルで培ってきた、業務ノウハウや、地域課題に対する解決策などを、SaaSとして事業化していくことに今後力を入れていきたいと考えております。課題先進国である日本に蓄積されたノウハウは、今後発展途上国支援にも活かせるので、バングラデシュの発展にも貢献できればと考えています。

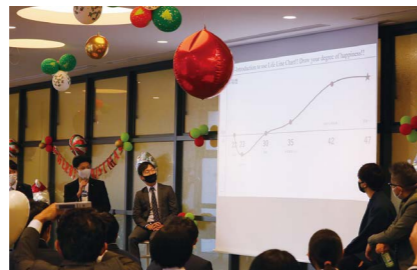


## 地域のICT人材を支えるプラットフォームをご紹介します

### MIYAZAKI

## Miyazaki IT Plus

Miyazaki IT Plusは、産業界(民間企業)と学校・行政が連携して活動をおこなうコラボレーションプラットフォームです。人材確保、育成、交流、広報に関わる様々な取り組みを実施しており、現在52の企業が参加しています。  
ICT関連企業の課題である人材不足に対し、新規採用・人材育成の情報の連携・イベントを通じて課題解決を図ると共に、企業間・学生を含めた交流イベントなどを企画し、宮崎県内を中心にICT産業全体の活性化を促進します。

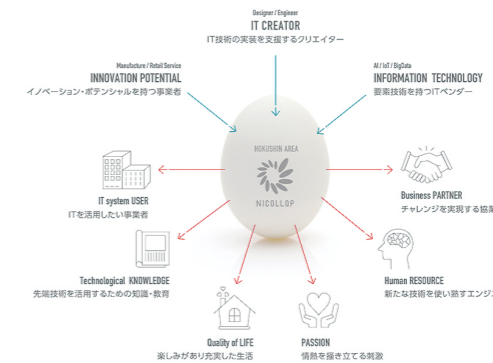


<https://www.miyazaki-itplus.net/>

### NAGANO

## NICOLLAP

NICOLLAP(一般社団法人 長野ITコラボレーションプラットフォーム(略称:ニコラップ))は、長野市を中心とした北信地区をITを活用した新規事業にチャレンジする事業者とその支援者が集まる魅力ある地域にし、新しい産業を生みだすことを目的とした団体です。  
NICOLLAPでは新規事業推進の主体となる事業者(ビジネス会員)とその推進を支援する 事業者(IT会員・アドバイザーボード)とのコラボレーションを促進し、地域での実証実験や行政における補助金制度などの支援調整、教育機関との共同研究のコーディネートなど、関係各所と協調して信州ITバレー構想の実現を目指します。



<https://nicollap.jp/about>

次のステージへ。もっと多くの人に知ってもらいたい！

B-JET CAFE



B-JET CAFEでは、 Bangladesh のB-JET生と日本の高校生、社会人、 Bangladesh にゆかりのある方から(ない方も)そして、日本語教師まで、幅広い世代、職種の方とオンライン交流を通して、B-JET生は生きた日本語に触れることができ、また日本からの参加者は Bangladesh の若い世代との会話を通して「今」の Bangladesh を深く知ることができます。B-JET生(10期)からは宮崎県立高千穂高等学校との定期的なB-JET CAFEが始まり、双方とも授業の一部として実施されていることから、より積極的な交流が行われています。

参加者の声

鈴木 麻菜 宮崎県立高千穂高等学校 1年

■B-JETのここが好き・楽しい

今まで他の国との交流はあまりありませんでした。それが毎週なので、クラスメイト感覚で交流ができてとても楽しいです。英語にはあまり自信がありませんでしたが、時には日本語やジェスチャーを使って気持ちが伝わった時にとても嬉しくなります。更に私はslackを使って、授業外でも Bangladesh になそうなものを写真(雪や紅白歌合戦など)で送って交流しています。言語だけでなく、色んなコミュニケーションの取り方を楽しんでいます。

■新しく知った・気が付いたこと

日本の良さです！自分の周りに当たり前にある伝統や文化を、「すごい！」と言って尊敬してくれて嬉しくなります。日本食やアニメもよく知っていて、外から言われて日本のすばらしさや素敵なおところに改めて気が付くことができました。私は自分が神楽をしていることをあまり周りに言っていなかったのですが、日本にこんなに興味を持ってもらえるならもっと伝えていきたいと思いました。

■日本と同じだと思ったこと

「学ぶことに一生懸命な人たちがいる」ということです。他の国にも自分たちと同じように目標をもって学んでいる人たちがいる、ということは当たり前ですが今まで意識したことがなく、出会ったり話したりする機会もありませんでした。むしろB-JETのみなさんの方が積極的な上に一生懸命で、私も負けてられないな、と思いました。



運営者の声

福嶋 枝律奈 宮崎県立高千穂高等学校 教諭

■良かったこと

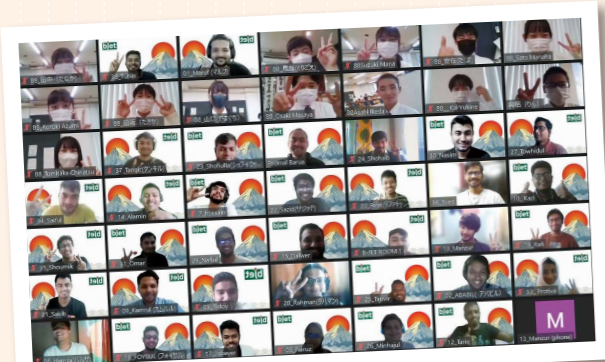
異文化理解の促進、言語学習の充実、発信の機会の確保...など良いことは沢山ありますが、何よりも良いのは生徒の素敵なお顔を沢山見られることです。国が違っても、お互いを尊重して、1つのプロジェクトを実行する。その中で困難があっても柔軟に考えたり、笑顔で協力する姿を見ると、私自身が学ぶことも沢山あります。

■参加する前後で、生徒の変化

日常の授業では、「英語を使う相手」が明確に見えたことで学習に取り組む姿勢に積極性が生まれました。ICTに関しても学校で1番使いこなせると思います。ですが、このB-JETでの学びは彼らの内面に大きく影響を与えていて、その変化は目に見えない部分もたくさんあると思います。その変化は、これからの彼らの人生を豊かにするのだろうな、とも思います。

■今後、期待すること

海の向こうに友達がいるのが当たり前。言語を教えあったり、文化を尊重しあったりするのが当たり前。そのように「当たり前にするのが絶対難しいこと」の壁を越えて機会を与えて下さったのがB-JETです。「国際交流はイベント」という固定概念がなくなるB-JET CAFEのような活動が、今後もっと増えることを期待しています。



B-MEET



B-MEET(宮崎- Bangladesh ICT人材育成事業)は、JICAの草の根技術協力事業として、2022年4月からスタートしています。本事業は、 Bangladesh と宮崎の企業がICT分野で繋がり、双方の経済交流を促すことを目的としています。現地 Bangladesh では、日本語、日本のビジネスマナーといった研修を実施し、宮崎市内のICT企業に対しては、 Bangladesh の商習慣などに関するセミナーを実施します。今後の Bangladesh と宮崎の経済的な循環を目指します。



【BSクラス】  
B-MEET for University Students  
ナディア・ラフマン・ピーヤ  
Nadia Rahman Peeya



修了生の声



【BPクラス】  
B-MEET for Professionals  
リボン・デイ  
Ripon Dey

日本語と日本文化を深く学ぶことができました。

なぜB-MEETに参加しようと思いましたが？

子供の頃から日本や日本文化に興味があり、参加しました。ビジネスを始めるにあたって日本市場に参入する機会があり、B-MEETは最適な選択肢だと思いました。

授業はとてもインタラクティブで興味深く、私たちはとても楽しみながら学ぶことができました。

参加して、いちばん印象に残ったことは何ですか？

短時間のプログラムでしたが、私達に最適なカリキュラムで、特に先生方がとても親切だったのが印象的でした。

授業では日本語を学ぶだけでなく、日本の文化についても深く知ることができました。一番良かったのは、日本と Bangladesh の友好の歌を学んだことです。私はこの歌がとても好きでした。

参加して、いちばん良かったことは何ですか？

初めは、この短期間で日本語を学び、文化を知るとはとても無理だと思っていましたが、実際に受講してみると、それは可能だと分かったことが一番良かったです。

日本語能力試験には合格しましたが、まだまだ足りないところがありました。発音やカタカナの書き方、日本人の身振り手振りやマナーなど、日本語に関する多くのことを学ぶことができました。

参加後、どのような変化または効果がありましたか？

B-MEETプログラムを修了することで、日本語の入門レベルを理解できました。会話や日本の文化や伝統についてもたくさん知ることができました。日本と Bangladesh の友好の歌は本当にすばしかったです。

関係者の声

シナ・サルダール 宮崎大学 特別助教

■B-MEETの授業を通して、感じたことは？

受講生の学習意欲がとても高いと感じました。日中は学業や仕事をされていますので、夕方からの授業は疲れて、あまりモチベーションが上がらないのではと思っていました。でも、実際には積極的に参加され、発言や質問も毎回沢山してくれましたので(準備は大変でしたが・笑)受講生も(私も)毎回楽しく授業をすることができました。

■2クラスありますが、その違いは？

BSクラスとBPクラスの2クラスあります。BSクラスは大学卒業を控えた学生が多く、BPクラスは社会人として働いている方を対象としたクラスになります。どちらのクラスも日本(宮崎)とICT分野で繋がりを持ちたいと思っている方が受講されています。

■受講生からの反応は？

受講生からは「日本語を学ぶだけだと思っていたが、実際は自分達が知らなかった日本文化を深く知ることができた」「ビジネスコミュニケーションを通して日本社会のマナーや習慣を学ぶことができた」など受講生からうれしい声をいただきました。今後はさらにB-MEETの授業を充実させていきたいと思っています。





宮崎大学

〒889-2192 宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地  
URL <https://www.miyazaki-u.ac.jp/>



JICA九州

〒805-8505 福岡県北九州市八幡東区平野2-2-1  
URL <https://www.jica.go.jp/kyushu/index.html>

